

**【事務事業調査】**

|       |             |              |                  |         |                      |
|-------|-------------|--------------|------------------|---------|----------------------|
| 事務事業名 | 乳幼児健診・相談事業費 |              |                  | 予算科目コード | 会計 - 款 - 項 - 目 - 事業  |
|       |             |              |                  |         | 001-040102-003-02-02 |
| 担当部課  | 住民生活部 健康福祉課 | 担当<br>サブリーダー | 健康づくり担当<br>田中 圭子 | 事業の分類   | 既存事業                 |

**■事務事業の概要**

|    | 何をどのような方法で実施します(実施しました)か?   | どのような成果が現れます(現れました)か?   |
|----|---|---|
| 計画 | <p>児の健やかな成長の観察や家族への育児不安の軽減を目的として、4か月、10か月、1歳6か月、2歳、3歳児の月齢で、医師の診察、発育状況の観察、保健師・栄養士・歯科衛生士・心理相談員による育児相談を行う。また、希望者を対象に毎月保健師・栄養士・心理相談員により乳幼児相談を実施。集団に適応することが苦手な発達障害児への対応として、年中児を対象とするのびのび発達相談によるスクリーニングと集団に適応を促す小集団教室を実施する。子どもみらい課・園・学校と連携し、児の健やかな成長を援助する。</p>    | <p>定期的に児や家族を観察することにより、育児不安や養育力不足への早期対応ができる。心身の疾患や発達障害を早期に発見し、指導や教室を行うことで重症化を防ぐことができる。早期に対処することにより、障害を持ちながらも健やかに成長し、社会に適応することができる。</p>   |
| 実績 | <p>4か月、10か月、1歳6か月、2歳、3歳の月齢でそれぞれ年12回、計画どおり実施。未受診者に対しては、翌月への受診勧奨、電話による状況確認、家庭訪問、保育園・幼稚園での状況確認を行い、ほぼ全数把握に努めた。集団に適応することが難しい児への対応として、各保育園や幼稚園を巡回し、5歳児相談や、希望者へ発達相談を実施した。また、就学前の年長児を対象にグループ指導として「りんご教室」を開催し、就学にスムーズにつながるよう援助した。子どもみらい課、保育園、特別支援学校等と連携し、事業を進めた。</p> | <p>0歳児から就学前までの児に対して、それぞれの時期に応じた援助をすることにより、保護者の育児不安を軽減し、児に適切な対応をすることができた。3歳以後は、集団に入る児が多くなり、保護者だけでなく、保育園や幼稚園での生活が大きく影響していくため、関係機関と連携することにより、児の健やかな成長を助けることができた。グループ教室「りんご教室」を保育園や幼稚園の協力を得て実施することは、保育士等が児への接し方を学ぶことができ、日常の保育に役立てることができたのではないと思う。相談や教室等で保護者と十分なコミュニケーションがとれると、就学相談にスムーズにつながることもできた。</p> |

**■活動指標**

| 指標            | 目標値  | 達成値  | 特記事項   |
|---------------|------|------|--|
| 乳幼児健診未受診者の把握率 | 100% | 100% | 約10%ほどの健診未受診者がいたが、次回の健診への勧奨、電話連絡、家庭や保育園等への訪問などで全数把握することができた。 |

**■事業費(計画)**

| 細 節     | 金 額       |
|---------|-----------|
| 1 賃金    | 3,255,000 |
| 2 報償費   | 894,000   |
| 3 消耗品   | 113,000   |
| 4 印刷製本費 | 54,000    |
| 5 委託料   | 90,000    |
| 6 通信運搬費 | 144,000   |
| 7 扶助費   | 640,000   |
| 8       |           |
|         | 5,190,000 |

**■事業費(当初予算)**

| 細 節     | 金 額       |
|---------|-----------|
| 1 賃金    | 3,087,000 |
| 2 報償金   | 762,000   |
| 3 消耗品   | 111,000   |
| 4 印刷製本費 | 54,000    |
| 5 委託料   | 60,000    |
| 6 通信運搬費 | 144,000   |
| 7 扶助費   | 620,000   |
| 8       |           |
|         | 4,838,000 |

**■事業費(実績)**

| 細 節     | 金 額       | 特記事項 |
|---------|-----------|------|
| 1 賃金    | 3,083,438 |      |
| 2 報償金   | 678,000   |      |
| 3 消耗品   | 108,836   |      |
| 4 印刷製本費 | 50,400    |      |
| 5 委託料   | 23,834    |      |
| 6 通信運搬費 | 125,616   |      |
| 7 扶助費   | 526,000   |      |
| 8       |           |      |
|         | 4,596,124 |      |

**■事業経費**

|     |          | 計 画       | 実 績       | 特記事項 |
|-----|----------|-----------|-----------|------|
| 予 算 | 当初予算額    |           | 4,838,000 |      |
|     | 補正予算額    |           | 0         |      |
|     | 流用額      |           | 0         |      |
|     | 予算現額     |           | 4,838,000 |      |
| 決 算 | 決算額      |           | 4,596,143 |      |
| 財 源 | 国庫支出金    |           |           |      |
|     | 県支出金     |           |           |      |
|     | 地方債      |           |           |      |
|     | 受益者負担金   |           |           |      |
|     | その他の特定財源 |           |           |      |
|     | 計        | 0         | 0         |      |
|     | 差引(一般財源) | 5,190,000 | 4,596,143 |      |